

紹介患者さん 診察予約・検査予約 申込について

ご紹介頂く患者さんの待ち時間軽減と、病診・病病連携のより一層の充実のため、患者サポートセンターにて診察・検査の事前予約を行っております。

予約の手順

1 医療機関より

☎ お電話 or 📠 FAX

📠の場合
「診察・検査予約申込票」
に必要事項をご記入のう
え FAX をお願いします。

※「診察・検査予約申込票」はホームページ
よりダウンロードいただけます

2 当院より

診察・検査予約日時
のお知らせ

患者サポートセンターよ
り、予約票を FAX にて返
信いたします。

※ 受付時間外の依頼に関しては、
翌営業日に返信させていただきます

3 患者さん

予約当日、患者さん来院

紹介患者受付窓口(10番)
へお越しください。



医療機関専用 予約受付連絡先

康生会武田病院 患者サポートセンター

☎ 075-361-1352 (直通) 📠 075-361-1337 (直通)

予約受付時間 ▶▶ 平日 8:30~19:00 土曜日 8:30~17:00

※FAXは24時間お受けしております。

【患者さん専用予約窓口】

患者さんからの予約申込みは、こちらの専用電話へお掛け下さい。

☎ 075-361-1360 予約受付時間 ▶▶ 月~土 9:00~17:00

ご持参頂くもの

ご来院の際は下記をご持参
ください。

- 予約票
- 診療情報提供書(紹介状)
- 検査データ(CD-Rなど)
- 健康保険証
- お薬手帳
- 診察券(受診歴のある方)

受付時間

月曜日~金曜日 8:30~19:00 土曜日 8:30~17:00

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただきます。

患者
サポート
センター

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)

FAX (075) 361-1337 (専用)

※患者サポートセンター受付時間外につきましては医事部(医療事務)にて対応させていただきます

TEL (075) 361-1351 (代表) FAX (075) 361-1268 (医事部専用)

地域医療連携だより

一次脳卒中センター

として認定されました

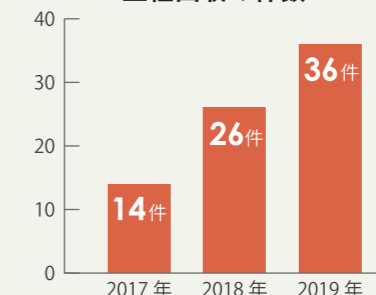


当院は 2013 年に脳卒中センター、ストロークケアユニット(SCU)を開設して以来、非常に多くの脳卒中患者さんの治療を行っています。この度、過去の入院・治療実績並びにスタッフの要件を満たすことから、日本脳卒中学会より「一次脳卒中センター」として認定されました。これからも信頼される脳卒中医療を通して地域医療に貢献いたします。



▲ 常に最新の機器を用いて
血栓回収を行っております

血栓回収の件数



理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

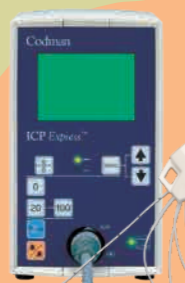
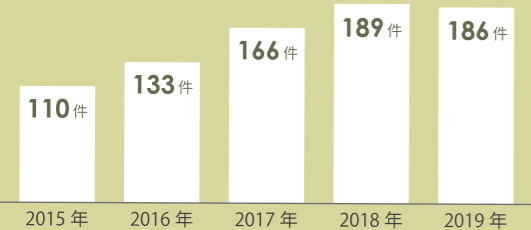
基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R
(減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

頭部外傷緊急入院数



新規導入された
頭蓋内圧モニタ装置

コロナ禍経済活動再開で 頭部外傷が増えています

当院には頭部外傷の患者さんも非常に多く搬送されてきます。新しい生活様式が宣言され、社会経済が動き出すと同時に、頭部外傷の患者さんも増えてきております。当院には日本脳神経外傷学会会員が2名在籍しており、同学会が認定する暫定研修施設に認定されております。

当院では、頭部外傷後の治療に必須の『頭蓋内圧モニタ装置』を導入し、よりきめ細やかな患者管理に努めています。

当初は軽症であったにもかかわらず、数日の経過で重症化する頭部外傷もございます。特に抗血栓薬を内服中の方は注意が必要です。遠慮なく当院へご紹介ください。

	午前 9時～12時30分(当日受付12時迄)	午後 14時～16時
月	★部長 定政信猛	
火	★特任部長 山名則和	
水	★小野功朗	
木	★山本優	
金	★センター長 滝和郎	★永井靖識
土	★第1.3.5 辻博文 ★第2.4 佐々木夏一	

待ち時間短縮のため、下記の印(★)の科目については、予約制を導入しています。
★…初診・予約のない再診・急患の診察。
(他院からの診療情報提供書をお持ちの患者さんはこの限りではありません)



後列左から、医師 塩見 晃司 医師 永井 靖識
前列左から、特任部長 山名則和 センター長 滝 和郎 部長 定政 信猛

地域における認知症支援の強化をめざして

栃岡千香子

認知症は、早期対応の遅れから症状が進行したり、適切な支援につながっていないケースが大きな課題とされています。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の方やそのご家族に早期から関わる「認知症初期集中支援チーム」の取り組みが国・自治体等で進められています。

当院は、下京区・南区・東山区を対象とした「認知症初期集中支援チーム事務局」(京都市委託)として、複数の専門職が認知症が疑われる方や認知症の方、及びそのご家族を訪問・アセスメ

ントし、自立生活のサポートを行っています。

行政・消防・警察、そして地域の核となる方々と日頃から顔の見える関係作りを行い、地域における「早期発見・早期診断・早期支援」の機能が強化されるよう努力してまいります。



連絡先

京都市下京区・南区・東山区認知症初期集中支援チーム事務局 (康生会武田病院内)
TEL: 075-361-0300 月曜日～金曜日(年末年始除く) 8:30～17:00

「排尿自立指導ケアチーム」

排尿管理に関する管理・指導の重要性が認められ、2016年度診療報酬改定で「排尿自立指導料」が新設されました。当院では2018年8月に「排尿自立ケア指導チーム」を立ち上げ、週1回のラウンドを続けています。

当チームは、腎泌尿器外科の医師を中心に、皮膚・排泄ケア教育課程修了者、下部尿路障害に関する所定の研修修了者と病棟看護師、理学療法士が多角的な視点を持ちケアに関わっています。

例えば、尿道カテーテルを長期間留置すると、自分で排尿する必要がなくなるため、床上で生活する時間が長くなり、全身の筋力低下を引き起こします。さらには、菌が逆流し尿路感染を引き起こします。そのため、尿道カテーテルを早期に抜去して尿路感染を防止しその方に合っ

た排尿管理に導くなど、患者さんのQOLの維持向上を目標とした活動を行っています。

また退院後も「その人らしく安心な生活」が送れるよう、地域の多職種のスタッフの皆さんと積極的な情報共有を行い、排尿に関する悩みを抱える方に対するご支援を行ってまいります。

